

マンガ大賞
Cartoon grand prize
2010 マンガ読みが選ぶ2009年の一推!

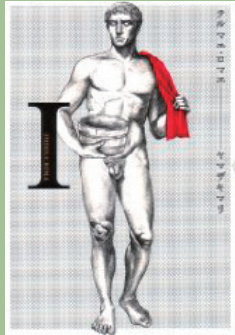
報道資料

2010年3月17日

マンガ大賞 2010 決定! マンガ読みが選ぶ 2009 年の一推は

「©ヤマザキマリ/エンターブレイン」

「テルマエ・ロマエ」 ヤマザキマリ



「©ヤマザキマリ/エンターブレイン」

94pt

Cartoon
平たい顔族よ
ありがとう!!
(そしてもっと色々と書いてほしい)



2010年のマンガ大賞は
大接戦での94pt獲得!

「テルマエ・ロマエ」が大賞授賞!

マンガ大賞最終選考ノミネート作品

89pt

『宇宙兄弟』
小山宙哉

60pt

『バクマン。』
大場つぐみ・小畑健

55pt

『アイアムアヒーロー』
花沢健吾

48pt

『甥の一生』
西炯子

47pt

『虫と歌 市川春子短編集』
市川春子

46pt

『海月姫』
東村アキコ

44pt

『モテキ』
久保ミツロウ

25pt

『高校球児 ザワさん』
三島衛里子

23pt

『アオイホノオ』
島本和彦

非ノミネート作品 (一次投票 89人 二次投票 89人)

アイゼンファウスト天保忍者伝 / i.d. / 青い花 / 青空エール / 青の祓魔師 / あさって朝子さん / アスカ@未来系 / AZUMI- あずみ - / アホリズム / あまんちゅ! / 雨無村役場産業課観光課 / 以下略 / いばらさらばい / イムリ / VINLAND SAGA / うさぎドロップ / 海街 diary / ウランバナ / 駅から5分 / 駅弁ひとり旅 / 榎本俊二のカリスマ育児 / 大奥 / おかあさんがいっしょ / おかめ日和 / おたくの娘さん / odds GP! / 乙嫁語り / 溺れるナイフ / おやすみブンブン / 俺様ティーチャー / 俺はまだ本気出してないだけ / 怪獣の子供 / 回転銀河 / 架カル空ノ音 / 影の子どもたち / KATANA / COPPERS / 鞆図書館 / 我闘乱~ GAMARAN ~ / かよちゃんの荷物 / からん / 河内遙時代短編集ルビ / キーチVS / きのう何食べた? / ぎんぎつね / CLOTH ROAD / クロとマルコ / ケーキを買いに / 月光条例 / 外天の夏 / 珈琲時間 / コーヒーもう一杯 / 刻刻 / 極道めし / 午前三時の無法地帯 / コッペリオン / この世界の片隅に / 坂道のアポロン / サマヨイザクラ / さよなら群青 / 3月のライオン / 四稲家の人々 / 屍鬼 / シスタージェネレーター / 失恋ショコラティエ / シマシマ / シュトヘル / 将国のアルタイル / 少女少年学級団 / 少女ファイト / しらくまカフェ / 真机上の九龍 / 新ゲノム / 深夜食堂 / 数学ガール / スコペロ / 鈴木先生 / 青春攻略本 / 聖☆おにいさん / 世界に羽ばたけ轟先生! / 背伸びして情熱 / 戦国妖狐 / センセイの鞆 / 前夜祭 / 狙上の鯉は二度跳ねる / それでも町は廻っている / 孫子異伝 / 大東京トイボックス / ダニー・ボーイ / チーズの時間 / 中央モノローグ線 / 中春こまわり君 / ちょこらん / ちょっと江戸まで / 罪と罰 A Falsified Romance / ディーふらぐ! / ディエンビエンフー / テガミバチ / デカワンコ / デボネア・ドライブ / 東京都北区赤羽 / 童話迷宮 / 凍牌 / となりの怪物くん / とめはねっ! - 鈴里高校書道部 / 友達 100人できるかな / トラウマイスタ / トリコ / とろける鉄工所 / DROPS / 70億の針 / 日常 / 猫絵十兵衛~御伽草紙 / ねこだらけ / 野田ともうします / のらみみ / ノラ猫の恋 / はじめてのあく / パチパチ / 花と奥たん / ばらかもん / P.S. アイラブユー / ヒーシーイット アクア / Piece / ヒストリエ / 瞳のフォトグラフ / 秘密トップ・シークレッター / 百姓貴族 / ビリーバット / ファイトじいじクラブ / ファムファタル~運命の女 / ファンタジウム / 腐女子っす! / フダンシズム / プラステッド / flat / プリーズジープス / プリティ・マニア / PLUTO / ぶるんワンダーランド / FRONT MISSION DOG LIFE & DOG STYLE / ベリー ベリー / 変ゼミ / ペンとチョコレート / ベントラーベントラー / 放課後ウィンドオーケストラ / 放課後のカリスマ / 坊主 DAYS / ぼくたちは知ってしまった / 僕の小規模な生活 / ボクラノキセキ / 星が原あまんじゅうの森 / 星は歌う / 星守の犬 / ボテン生活 / マイガール / 舞姫 (テレビシネマ) 第2部 / マギ / マコちゃん絵日記 / 町で噂の天狗の子 / 魔法なんて信じない。でも君は信じる。 / ママはテンパリスト / 万福児 / みどりのまきば / 未満れんあい / 無修正学級 カラレヤ~狩られ屋~ / もうかえてくれないかっ / 魍魎の匣 / MO' SOME STING / 百舌谷さん 逆上する / ももんち / ゆうやみ特攻隊 / ゆゆ式 / 世にも奇妙な漫☆画太郎 / 嫁姑の拳 / ヨルムンガンド / ラキア / LOVE SO LIFE / Love Hate Love / 乱と灰色の世界 / Real Clothes / RED / 恋愛ラボ / 蠅燭姫 / ロッテのおもちゃ / ロボット残党兵 / わ! / 惑星のさみだれ / ワシズ 閻魔の闘牌 / ワンダフルライフ?

※ポイントの集計方法は
1位→3pt 2位→2pt 3位→1pt
の投票された数の合計によって決められています。

このたび、書店員を中心にした各界のマンガ好きが選ぶ、2009年の一押しマンガ、マンガ大賞2010が、決定し、東京千代田区有楽町・イマジンスタジオで表彰式が行われ、第3回目、本年度のマンガ大賞が、

『テルマエ・ロマエ』 ヤマザキマリ

BEAM COMIX(エンターブレイン)

に決定致しました。
お知らせ致します。

選考員は、
第1次選考には、89名が参加。
第2次選考は、89名が参加。
選考員の方は、すべて、ノーギャラ・ボランティアで、
のべ数千冊のマンガを読み、選考をしていただきました。

○作者のコメント
※別紙参照

○選考について

選考対象：2009年1月1日～2009年12月31日に単行本が出版された作品で、
最大巻数が8巻までのマンガ作品。

選考方法：

第1次選考：各選考員が、「マンガ大賞」に推薦したい作品、最大5作品を選考。

第2次選考：第1次選考で投票数が多かった10作品をノミネート作品とし、

選考員は、全ノミネート作品を読んだ上で、上位3作品を選考し、

集計の上、『マンガ大賞』を決定。

<FAQ>

Q. どういう動機で始めたんですか？
A.

年間に何百冊もマンガを読む読者は、「これはぜひ、他の人にも読んでもらいたい！」と思うような、面白いマンガに出会うことがあります。

一方で、マンガは、年間およそ一万点の新刊が出版され、ただでさえ選択肢が多いのに、書店の店頭では、ビニールがかけられていて、店頭で、試し読みができない場合も、少なくありません。

そこで、面白いマンガを周りのひとに宣伝したい読者が、「このマンガはこんなに面白いよ！」と、マンガに興味はあるけれど、それほどディープではないひとに伝えるために、始めました。

いろんな方が、マンガ大賞をひとつのきっかけに、面白いマンガに出会ってもらえたら、幸いです。

あと、マンガ読者として、ほかのマンガ読者の意見を集めることで、面白いマンガを見逃さず、貪欲に読みたい！という気持ちもあります。

Q. 選考員は、どうやって選んでいるの？
A.

今回に関しては、普段からマンガの現場でマンガに接している実行委員会のメンバーが、「この人はマンガに対して熱を持っている！」と直接存じ上げている方に、声をかけて、集まって頂きました。

なお、マンガが売れることに直接の利害関係があるマンガ家さん本人や、編集者の方、ブックデザイナーの方は、公正を期するために、選考員にはなっていないでいます。

Q. なぜ、投票対象が、8巻までなの？
A.

だいたい、一番単行本が出るのが早い週刊連載で、3ヶ月に1巻、新刊が出版されます。年に4回×2年で、8巻です。

それだけの期間があれば、人に勧めたいマンガの面白さは、発揮されていると思います。

逆にそれ以上の長さのものは、面白さは世間に知れ渡っているだろう、ということで、8巻までを対象にしました。

あと、これ以上長いと、気軽に手に取るには、ちょっと量がありすぎるかな、というもあります。

Q. 運営のコストはどうなっているの？
A.

公正を旨とする企画意図からして、営利を追求することはなじまないで、

サイトのデザイン、運営、ロゴ制作、ほか、すべて、趣旨に賛同してくださった方をお願いして、ボランティア、ノーギャラです。

選考員の方、ほか協力スタッフの方、「マンガの話をしなから酒が飲みたい」を合い言葉に、皆さん手弁当で参加して頂いております。

Special thanks.
ロゴデザイン：関 善之

『テルマエ・ロマエ』 ヤマザキマリ

BEAM COMIX(エンターブレイン)

に決定致しました。
お知らせ致します。

○ 作者のコメント

【受賞の言葉】

ありがとうございます。

ポルトガルと日本、何万キロ離れているか分かりませんが、もう心臓がドキドキで、涙も出てきました。素晴らしいですね。

【会場の雰囲気を見ての感想】

全然信じられていない状況が本心なんですけども、改めてスカイプで、ヴァーチャル的なものであっても、この現状を見てやっと、「ああ、嘘じゃないんだ」と実感できました。

今朝までは本当かなあ、本当かなあというのがずっとあったので、この会場の様子を今、目の当たりにして「ああ、本当だった」という実感がしみじみと湧いております。

【作品が生まれた発想の源は】

私にしてみればものすごく、はっきり言って今まで私が書いてきた全ての作品の中で一番自分の、こう、枕のにおいを嗅ぐじゃないけれど、自分の体臭がするぐらい、ものすごく当たり前が発生してしまったマンガです。

私の主人がローマおたくで、家の中にいる時でも普段、さっきローマからワープしてきたみたいな会話を普通にするわけですね。そんな日々を過ごしていつつ、家にはお風呂、浴槽がない。だから私は非常に、日本のお風呂に対する渴望感が募っているわけです。でも、ローマ人の話をしていて、ローマ人というのはお風呂が大好きで、お風呂に入っていた。しかし今のヨーロッパ社会には公衆浴場が全くない。「なんで～！」という若干憤りに似たようなものから、じゃあ「マンガにしたれ！」といった感じで、普通に出てきました。